

**授業概要**

実際の保育の現場を想定して、子どもの姿に寄り添いながら、表現・造形活動を進めることへの理解を目指す。保育の現場で行われる季節の行事や、子どもが日常で感じる季節感を取り入れた制作を行するための下記の3つのスキルを学ぶ。

- ・子どもの表現と発達の関係について学び、子どもの制作についての基礎を理解する。
  - ・保育の現場や子どもの日常を想定して、使用する材料や道具の有効性や、季節や行事に連動した活動題材の設定について学ぶ。
  - ・上記の学びを踏まえ、指導案を作り模擬保育を行う。それにより子どもの動きを想定しながら、実践に役立つ現場力を養う。
- これらの学びを通して、保育・教育者としての適切な指導のあり方を考えるよう指導する。

**授業計画**

第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	幼児の表現とは
第 3 回	幼児の表現と発達 (1) (発達に合わせた材料と用具)
第 4 回	幼児の表現と発達 (2) (発達に合わせた制作と環境設定)
第 5 回	材料の研究 (1) 紙
第 6 回	材料の研究 (2) 自然素材、身近な素材
第 7 回	道具の研究 (1) 絵具の多様な使い方
第 8 回	道具の研究 (2) クレヨンの多様な使い方
第 9 回	絵本からの展開 (1) 「はらぺこおあむし」の素材研究
第 10 回	絵本からの展開 (2) コラージュ用の素材作り、
第 11 回	絵本からの展開 (3) オリジナル絵本の構想
第 12 回	絵本からの展開 (4) オリジナル絵本の制作
第 13 回	絵本からの展開 (5) オリジナル絵本の制作
第 14 回	「はらぺこおあむし」指導案作成
第 15 回	指導案と作品発表
第 16 回	まとめ

**到達目標**

- ・保育・教育者としての造形活動を支援、指導する為の知識や基礎となる技能を習得する。
- ・子どもの造形表現・描画における発達段階を理解し、造形活動を展開することができる。
- ・子どもの日常や季節から造形活動を展開することができる。
- ・子どもの表現の豊かさに気づくための、共感の眼ざしを育む。

**履修上の注意**

造形活動で用いられる様々な材料・用具(絵の具・画用紙・糊等)の準備をする。

**予習・復習**

子どもの制作や作品を理解するためには、子どもの作品に触れる機会をもつことが役立ちます。子どもの作品展に行ったり、子どものワークショップに参加したりするなど、子どもの目線で制作活動を捉える機会をもつことが期待される。

**評価方法**

制作準備・環境設定 30%、課題作品 40%、学習態度・協調性 30%)

**テキスト**

授業内で配布します。